

## 西海ゼミ 30 周年を記念して

H17 年卒 小笠原寛樹

ゼミ開設 30 周年おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

H17 年度卒は、先生が工学部長をされていた時期にゼミ配属となりました。先生は現在新たに東館として建設された校舎を設立するため、また新たな学部学科を創設されるために奔走されておられました。

その中でも非常に印象に残っているエピソードがあります。それは、先生が住民の皆さんに校舎建設にあたって説明会をなさった際のお話です。学生は騒がしいし、日当たりも悪くなる可能性があるということで当然のように住民の方々からは非難を浴びたようでした。どれだけ説明してもご理解いただけない状況が続きましたが、先生には秘策がありました。説明会も終盤になったころ、先生はその秘策を使われたそうです。それは、ぐうの音も出なくなるような一言でした。

「あなたたちの年金を支えるのはこの子たち生徒なんです」

全くもって間違いはありませんが、何故か言いくるめられた気がする一言です。住民の方々には何とかご理解いただけたようでした。私はこのエピソードをお聞きした時、思わず笑ってしまいましたが、それと同時に自分自身にも国を支える責任があることも思い知らされました。

上記のエピソードを含め、先生には数々の名言があります。ここでご紹介できないものから人生論として非常に勉強になるお言葉まで様々です。その中でも私が今でも繰り返し思い出す事がある一言があります。それは、

「人間は挑戦をやめた瞬間から退化が始まる」

という言葉です。似たような言葉は世の中に氾濫していますが、私は先生がおっしゃったこの言葉に深く考えさせられました。就職活動で、人生でもっとも印象に残った言葉として挙げたほどです。何故それほど印象に残ったか、それは、先生が日々挑戦し続けておられる方であることを、ゼミ活動を通して身をもって感じていたからでした。先生は常に前向き・ポジティブに攻め、そして何事も楽しむことを忘れない方です。いつしか私はそんな先生に憧れていました。とそんなことを言っているとまた学生の時のように怒られてしまいそうなのでこの辺にしておきます。最後に皮肉交じりの先生の口癖を 1 つ。

「君は勉強家だねえ」

話は変わりましたが…、私たち H17 年度卒は皆大学院に進学したため（他大の大学院へ 2 名進学）、社会に出たのは今年になってからです。皆新しい生活を始め、様々な壁に直面し、そして乗り越えている時期だと思います。大変勝手ながら、私の独断と偏見で皆の近況報告をさせていただきます。

[角石由美子]

(株)ニフコ

生活の中で縁の下の力持ちとなる意外な製品を作るため日夜奮闘中。  
先生も感動するような製品を作っている会社のようにです。要チェックです。

[黒木理大]

千代田化工建設(株)

西海ゼミからは三人目でしょうか。二年に一人のペースです。  
長期海外出張を終え、一回りも二回りも大きくなりました。学生時代に単身フィリピンにボランティアに行った経験は生かされたのか否か。

[山田慶]

日揮(株)

またまたプラントエンジニアです。今度は業界一位。一位が大好き山田慶。  
中東への長期出張を控え、休日返上で修行中。最近出光興産と仕事をした際に、某 H 先輩と感動の再会を果たしたとか。

[森一博]

連絡待ってます。

[小笠原寛樹]

(株)コーサー

意外や意外、西海ゼミからは三人目なんです。先日同門飲み会をしていただきました。  
まずは何とか化粧品に対する女性の感覚を身につけようと様々な化粧品を作り、そして使用する毎日。

卒業したばかりなのであまり代り映えがしないとは思いますが、このような状況だと思われ  
れます。皆研究室 HP を定期的にチェックしているはずですので、今後も西海ゼミの近況  
報告を期待して待っております。

全く脈略のない文章で大変申し訳ありません。しかし、西海ゼミで経験し得られたこと  
は間違いなく私たち自身の糧となっています。今後も何かとお世話になることがあるかと  
は思いますが、その際も何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

最後に、更なる西海ゼミの発展と西海先生のご健康を祈願致しまして、お祝いの言葉に  
代えさせていただきます。